

農作物生産指導臨時情報

(大雨に対する技術指導)

平成 22 年 9 月 1 日

青森県「攻めの農林水産業」推進本部

8月31日から9月1日にかけての津軽を中心とする大雨により、冠水や浸水したほ場が見られていますので、今後の気象情報に注意し、農作物の管理に当たっては次の対策を進めて、被害の軽減に努めてください。

(事後対策)

1 水稲

- (1) 流入した土砂は、速やかに取り除く。
- (2) 冠水や浸水した水田では、排水を急ぐとともに、稲に付着した泥を洗い流す。
- (3) 決壊した用排水路や畦畔は、速やかに補強・整備する。
- (4) 倒伏した稲は引き起こし、4～5株ごとに止葉の基部を束ねるなど、登熟促進に努める。

2 畑作・野菜・花き

- (1) ほ場に停滞した水は、排水溝を設けて速やかに排水し、作物に付着した泥は清水で洗い流す。
- (2) 流入した土砂は、速やかに排出するとともに、うね間の中耕を行い、生育促進に努める。
- (3) 冠水、浸水により損傷を受けた作物は、病害虫が発生しやすくなるので防除を徹底する。

3 りんご等果樹

- (1) 冠水した園地では、できるだけ早く、果実や葉に付着したゴミを取り除き、泥を清水で洗い落とす。有袋果は除袋してから、これらの管理を行う。
- (2) 傷ついた果実は、速やかに取り除く。腐敗した果実は、随時、取り除く。
- (3) 土砂の集積が激しいときは、樹の根元の土砂を取り除く。

4 飼料作物

- (1) 飼料畑に停滞した水は、速やかに排水する。
- (2) ロールベールサイレージのラップが裂けたり破損した場合は、破損部分を直ちに補修するとともに、できるだけ早く家畜に給与する。



報道機関用提供資料	
担当課 担当者	農産園芸課 稲作振興グループ 舘山主幹 野菜・畑作物振興グループ 原主幹 りんご果樹課 生産振興グループ 小笠原主査 畜産課 経営支援グループ 梶田技師
電話番号	直通 017- 734- 9481 内線 3460
報道監	農林水産部 小山内農商工連携推進監(次長) 内線 3181

【おしらせ】

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンや携帯電話にメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「アップルネット」からお申し込み下さい。